




八期オンライン日記第99号(7月号)

2025 年7月1日～31 日





玉龍8期パーティ案内

時:2025 年9月 16 日
12 時～15 時(3時間)
会食2時間を1時間延長

場所:日比谷 松本楼
東京都千代田区日比谷公園 11-2

会費:20,000 円

出席 & 取り消し連絡先: 西山 和宏
email: mfikazu@tkg.att.ne.jp
email: nishiyamakazu@softbank.ne.jp
携帯: 070 2796 4878
参加申し込み or 取り消し期限

2025 年8月4日(月)

参加 or 取消の連絡は、必ず西山から
確認を受け取るようにしてください

会食メニュー

フレンチ フルコース
スパークリングワイン
赤白ワイン他



オブショナル・ツアーのご案内

オブショナル・ツアーのご要望に添えて

2025 年9月16日 船本郷でのパーティ終了後出発 **雨天決行**
ビヤレストラン「ライオン銀座七丁目店」
住所:中央区銀座7丁目9-20
参加費:実費割り助です。
ドイツの雰囲気が漂うビヤレストラン、
予約はしませんか席を確保できます。
銀座中央通りを約40分散策しながら、
「ライオン銀座七丁目店」へ向かいます。
歩行不慣れの方は、ご自分でタクシーを拾っ
て向かってください。

2025 年9月17日 **会食&浜離宮 雨天決行**
参加費:1万円 10時30分:浅草雷門前集合
浅草散策後、「茶寮一船(ちやうりょう いちまつ)」にて
ミニ会席。12時～13時30分
浅草雷門での集合に遅れたら12時までに直拍
会食場所の「茶寮一船」へお越しください。
Tel 03-3841-0333 住所:台東区雷門1-15-1

14時20分:水上バスにて、浅草より隅田川に架かる橋
を潜り抜けて浜離宮へ向かう。一万歩以上の散策を
行つため、自力歩行可能な方の参加をお願いします。
「茶寮一船」会食のみ参加希望者は、12時までに
「茶寮一船」へお越しください。(香事前申し込み)

浜離宮:江戸時代には鶴亀や釣りを楽しんだ大名庭園。
この池は潮の干満によって趣が変化する。幕末には石
造洋館・延遊館が建設され、維新後は皇室園遊の地に
なった。園遊途次「中島の御茶屋」で休憩(予定)。

オブショナル・ツアーの参加希望者は
いずれも2025年8月5日(火)までに
西山 和宏へご連絡ください







大石
久しぶりに7時にウォーキング





大石

クルーズ船出航です(うんうん)
ビルが動いてるみたいだね!



森

膨大な資料が良くまとめられており楽しく読ませて頂きました。
大石編集長の代役を立派に果たされています。有り難うございました。



大石

今かなりゆっくり読み通しながらだんだんページを追うごとに自分が書いていたオンライン日記がいかにもマンネリになっていたのか(ダンダン)恥いるばかりです。

隅から隅まで手抜きもなく仕上がっています。顔写真だけでも新鮮で観ていて楽しくなります。ぼくが想像してたより何倍も上出来ですよ。みなさんからの

の評価が聞けたらきっと拍手喝采と思います。

今日木場さんから来た尾辻氏の娘さんの参院選出馬のトークが1日早かったら締めによかったかもしれませんが、選挙が終わってからの掲載でもいいと思います。

木場さんトーク添付します。

選挙戦のマスコミ情報など含めて来月号オンライン日記で掲載してはいかがでしょう。

LINEトークもあると思うので。



隈元

西山さん

編集ご苦労様でした。何も言うことはない素晴らしい編集ですね。

今年は、昭和 100 年、戦後 80 年・・・

「昭和も遠くなりけり」という感じですが、私たち昭和を生きたものが忘れてはならない、いや忘れられない巨人軍・長嶋の死や戦災の事など多くの記事に心を奪われました。そういう意味でも記念すべき「八期オンライン日記 98 号 6 月号」になりましたね。

西山編集長に心から喝采の拍手をおくります。

ありがとうございました。

隈元 達雄



木場

大賀ハスが咲きました。
2枚 LINE します。



浜崎

蓮の花のなんと綺麗な事。小学校以来の友達で、宗教に熱心な女性に言われました。天国の蓮の花には限りがあるから、今のうちに善行を心がけなさい。そしたら蓮の花に鎮座することが出来るわよ。一日一善という言葉は知っているが、とりあえず一日一回、善ちゃんに電話しよう。



森

座布団 1 枚!!



浜崎

喫茶店の思い出、反応が少なかったですね。苦い思い出ばかりではないはず、それとも内緒内緒、内緒の話は、あのねの ねー、なのでしょうか。コカコーラが珍しい頃、気どってコークと注文したら、コーヒーが運ばれてきた。コーラだったのに、いいえコーヒーと言われました！連れの彼女もコーヒーと言ったわよと、まだ、コーラをコークと言うのは、洋画の中だけ若かりし頃の勇み足、苦いコーヒーを味わいました。




西山

コカコーラの社員は「コーク」と言うことに強いこだわりがあります。その昔、コカコーラが酒販店を集めた講演会に講師として招かれたとき、「コカコーラ」ではなく「コーク」と言ってくださいと事前に言われました。

「コカコーラ」を一挙に有名にしたのは、1964 年東京オ



リンピック掉尾を飾るマラソンコースで、アジズ・アベベは裸足で走って優勝した、そのコー

スである甲州街道に面した看板の半分に  を描き、2時間以上にわたって、テレビ画面に映し出させた。今日では、そのような宣伝手法は禁じられている。



木場

ハスの花は、遠くしか、見れません。
身近に見ますと本当に荘厳な感じします。
東京、上野公園不忍池のハスを西山さんの LINE で見ました。



浜崎

朝ドラあんぱんで、リンゴの唄が流れていた。小学校二年の時、歌っていた同級生 5 名、小学生が流行歌を歌うとは、何たることぞと放課後、居残り掃除をさせられた。復員されたばかりの軍服軍靴の、担任の先生でした。



木場

リンゴの唄は、戦後の大変な世の中で、明るく感じた歌謡曲、NHKラジオから流れてくるとロずさんだこと、思い出しました。



森

歌手は誰でしたかね？



大石

並木路子？



森

城ヶ谷蓮は葉っぱだけです。





西山

りんごの歌は終戦の年の大ヒット曲ですね。作詞はサトウハチロー、
焼け跡だらけの時、千疋屋かどこだかのお店に赤いりんごがあって、
それを見て作詞したとか



木場

並木路子さん昭和 20 年 9 月、第 1 作目の映画、そよ風の主題歌、
主人公演じた様です。この歌は、世の中を明るくしたように憶えています。
自分も歌ったと記憶しています。明るい気分となったように思います。
リハビリセンターのプログラムにもボケ防止に昭和歌謡中心に毎回 2 曲、
皆さん歌っています。



大石

全国にちらばつた八期のかたからの花の便り嬉しいでさん、
木場さん宅のはすのはな。西山さんさんの不忍池。有難うございます
両方とも大きなハスの葉っぱからピンクの♡可愛らしい蓮の花。
すてきですね



永野

有難うございました。
木場さん。あれからすぐ^o^可愛らしいピンクのおはなさきましたね^o^アパート
の屋上での栽培はお水などに大変でしょう。ご苦労様



木場

永野さん、ありがとうございます。



永野

西山さん 上野不忍池の景色いつ
もありがとうございます♪

あなたのおかげで私も楽しんでます。これからもヨロシクお願いします
満開に咲いた時も観たいです^o^

東京の不忍池が鹿児島にある様な気持ちになります。





大石

さあ野球 BS 始まりました。山本が投げてる。
2 時間 ゆっくり涼しい部屋で♥



永野

私も、見てます。
8勝目期待。ロバート監督、今シーズン 18 勝期待。
ドジャース主力投手期待。



木場

大石さんの日中友好、長い年月、携わって来られた事、わかりました。
南日本新聞記事、薩摩の夜明け、お由羅騒動
読みました。ありがとう！



大石

注目しているけど応援してるわけではありません。
(応援)と言って他候補は興味ナシ(無関心)



森

父上は玉龍出身だしね



西山

尾辻朋美。1981 年 1 月 17
日生まれの 44 歳。

早稲田大学政治経済学部卒。
三井物産勤務、父参院議員尾辻秀久の
(元)秘書。

鹿児島 1

尾辻を園田が猛追

尾辻が立民支持層の 9 割を固め、やや有利。自民県連公募で選ばれず立民の推薦を受け、政権批判票をまとめる。園田が自民支持層の 7 割を固め激しく追う。衆参両院議員の経験を訴える。牧野が参政支持層の 9 割を固め浸透に腐心。

氏名	年齢	経歴	所属	備考
尾辻 朋美	44	元議員秘書	無所属	新立
牧野 俊一	39	医師	参	新元
園田 修光	68	元厚労委員長	自	元公
山本 貴平	50	NHK 党員	諸	新

世界史の中の

鹿屋島

尚古集成館前館長 松尾 千歳

嘉永4(1851)年正月20日、薩摩藩主・島津斉興は幕府に隠居願を提出、長男の斉彬に藩主の座を譲った。その後、斉彬の弟・久光に手紙を書き送った。そこには斉彬のことを「勇気少シ」「万事もれやすし」などと書いていた。

斉興は斉彬のことを嫌っていた。その理由は、琉球外交問題で二人の考えが大きく異なっていたからであった。

1840年代、薩摩藩領の琉球にイギリスやフランス

しかし世界情勢に精通し、部突然呼び出され、その直後に急死した。実は、斉興たちは藩財政の再建のため、琉球口貿易を隠れみのとした抜け荷を行っていた。また幕府から琉球派兵を命じられたもののこれを無視し、派兵したと虚偽の報告もしていた。阿部がこれらを追及したため、調所が全責任を負って服毒自殺したのであった。

阿部の情報源は幕府の隠密であった。斉彬も阿部から別途呼び出され、正式に聞かされていないことまで把握していたと推測されている。

さらに斉興たちは、軍備が処分された(お遊羅殿がでかいばかり者となし)の強化と並行して、西欧列島の要人たちを呪詛していた。それがなぜか、斉興の側室・お遊羅の方が、わが子久光を藩主とするため斉彬とその子どもたちを呪っている、というわけになった。しかも運悪く、斉彬の子供2人が相次いで病没し、うわさが真実であるかのような印象を与えた。

斉彬の支持者たちはこれに激怒し、お遊羅の暗殺を口にするようになった。それが實現して嘉永4(49)年12月、大勢の斉彬支持者が処分された(お遊羅殿がでかいばかり者となし)のであった。積極的な近代化が必要だと唱える斉彬を臆病者と誤解し、抜け荷や派兵の虚偽報告が幕府にはれたのも斉彬が漏らしたと思い、藩の秘密を守ること

■ 斉興の手紙

琉球外交で斉彬を誤解

「オウキョウ」・「オウキョウ」

「オウキョウ」・「オウキョウ」

台になった。

門入って右手にある。薩摩藩邸

郎士の権志



島津斉興が書いた呪符。「カラトン」はアメリカ国務長官クレイントン、「バルムルストン」はイギリス外務大臣パーマーストン(黎明館寄託)

がでかいばかり者となし)のであった。 〓 臨時掲載



ゼンチャン

地図で見ても何処にあるのか分からない小さな島でかねて鹿児島の人達さえ関心の薄い島なので今回は連日ひんぱんに起きてる地震で全国に知れ渡っています。早く収まると良いのですが…



大石

ぼくの左右県議(自民)曰く「尾辻手強いぞ！お父様の存在が…」



浜崎

ここ 4 日 程、食後の洗い物を引き受けている。カミサンが食事の準備中つい手を滑べらせて、指を切ってしまった。めったにないことなので、血を止めるのに慌てた。毎食、飲んで食べるだけの生活だったが、今かいがいしく後片づけを手伝っている。女の方は、毎日毎食大変だなあと、今さらながら、感心するやら反省しきり、母が健在の頃は、女手がたさんで、台所で男の子がウロウロするもんじゃない。と教えられた。それ以来台所仕事とは、あまり縁がない。料理は、したことない。ゆでたまご、リンゴの皮むきは、出来るが。8 期の男性諸氏どんな料理できますか。



森

私も家内が先月末から2週間余り腹部動脈瘤で入院したため自炊生活をしましたがレトルト食材ばかりで、食事作りには苦勞しませんでした。が味気ないものですね。



ゼンチャン

僕は食べた後の食器洗いを専門にやっていますが茶碗を落として割ってしまい娘に叱られています。



西山

食器洗いは非常に喜ばれると思います。洗い物をうまくやるコツは水をジャブジャブ使うこと。ちょっと水を節約するとうまく洗えないことがあります。でも 水を流しすぎて怒られないように注意しましょう。

西山

私は家内が倒れて、10 年ちょっと毎日朝昼晩 3 食毎回作っています。レシピはパソコンで、圧力釜を活用してビーフシチューや豚の角煮など、最近是非フライヤーも使っています。アメリカでは普及率約 90%位。2台持っている人も多いそうです。家内が元気な時は朝の味噌汁っていうのはあまりありませんでした。現在は具たくさん豆腐入りの味噌汁を欠かしたことはありません。土曜の丑の日はまだ先ですが、昨日はうなぎ入りのちらし寿司を作りました。お米は洗って水を切り、ザルにとって冷蔵庫に保管し、炊く前に取り出して圧力釜で炊いています。ポテトフライが欲しいときにはノンフライヤーで作ります。総菜のお天ぷらやフライ物は、ノンフライヤーで温めると抜群に美味しいです。





浜崎

西山さんには、感服。



大石

ぼくは投稿しているみなさんに感服です。台所はトースト🍞(焼き上がりにうるさいので任されてしまいました)当番だけです。自分で食べ終えた食器を台所へ持って行く迄(洗い方が下手だと言われ)です。

森

自由民主党 内部連絡文書

石破茂 総裁 鹿児島 来る!

応援演説 7/7 (月) 13:20~

みなと大通り公園 (鹿児島市役所前)

参議院議員候補 しのぶ 修光

そのだ 修光



大石

タフライエフェクト 選 ふたつの敗戦 60万人の孤独解雇

NHK総合1・鹿児島 031

詳細 出演者・スタッフ

ジャンル: ドキュメンタリー/教養(歴史・紀行)

番組概要:
去年放送した「ふたつの敗戦国」の日本編をアンコール。終戦間際、満州や朝鮮半島など海外には、軍人や民間人合わせて660万人の日本人がいた。敗戦後、運命は一変する。

番組内容:
敗戦後、海外にいた660万人の日本人は、一斉に日本への帰還を目指した。彼らはその時どこにいたかで命運が分かれた。満州にいた人々は、暴政してきたソ連軍の暴力に高院痛でさらされた。その後も中国に取られ続けた人々は、国策がないため、長い間帰還への道が隔された。日本に帰還できても故郷に居場所がなく、辺境の地で開拓に乗り出す人々もいた。住み処を巡り、流転の運命を背負った日本人の記録である。

011 MBC	021 E	031 G
MBC南日本放送	NHKEテレ1鹿児島	NHK総合1・鹿児島
7/7 (月)	00 ハートネットTV フクチッチ (67) デフリ	00 鶴瓶の家族に乾杯 俳優・山本耕史が宮崎県日向市の趣ある町並みをゆく
20	30 きょうの健康	45 情報WAVE 8
55 アーティスト別モノマネ頂上決戦 俺にアイツを歌わせたら右に出るものはいない第7弾	45 NHK手話ニュース	00 ニュースウオッチ9 新米の予約増...どうなるコメ▽大リーグ球宴選手発表
21	00 きょうの料理「暑さを乗り切る! うちの夏ごはん」	00 映像の世紀 バタフライエフェクト 選 ふたつの敗戦国 日本 660万人
55 アーティスト別モノマネ頂上決戦 俺にアイツを歌わせたら右に出るものはいない第7弾	30 趣味どきっ! 選 こっそりスマホの達人 (45 【夜ドラ】あお
22	00 グレーテルのかまど 竹久夢二のしるこせーき	00 参議院比例代表
25 100分de名著 フッサール 超越論的現象学	50 プリンプリン物	
00 news 23 困	05 プリンプリン物	

残留孤児の物語!! nhkの夜10:00デス!

“戦禍”言葉の壁、今も

中国残留孤児

鹿児島市の県営住宅で暮らす高橋達雄さん(左)。二つの祖国の平和が「一番大事だ」と語る



友好的な日中関係に期待

戦後80年
託す
2025
がごしま参院選

鹿児島市の県営住宅に住む中国残留孤児、高橋達雄さん(83)の次女良恵さん(55)は、中国の遼寧省で暮らしていた子どもの頃、父がいづも手紙を書いていたのを覚えている。宛先は日本の旧厚生省。1978年から91年まで、高橋さんは帰国を求めて何度も手紙を書いた。

中国で生き別れた母と80年に河北省で再会し、高橋さんの身元は判明した。しかし、日本にいる親族の協力が得られず、訪日調査団への参加も取り消された。日本政府からはいつも「待つてください」というむなし返事が届いた。89年によやく帰国を許

された。ところが今度は22歳だった長女だけ帰国できないという。「中国に娘を1人残し、孤児だった自分と同じ思いは絶対にさせたくない」と交渉を続け、2年後に一家6人で帰国を果たした。中国の養父に「日本人だ」と知らされてから四半世紀がたった。

念願の帰国だったが、「歓迎されていない」と高橋さんは感じた。すでに48歳で日本語の習得は難しく、職に就くこともできなかった。近くに住む良恵さんが付き添わなければ病院へも行けない。もともと早く帰国できていれば、違つ人生もあったのでは。

同じような思いを良恵さんも抱える。20歳から日本語を学んだが、なかなか滑らかにならない。「日本語がうまければ、もっといい職に就けたのに」と思う。子育てでも言葉で苦労した。「中国語を話す子どもが『中国人』とからかわれる」と、人前では親子で話さないようにした。当時は今よりも周りの目が厳しく、うっかり中国語が出てしまわないように子どもと

に就くこともできなかった。近くに住む良恵さんが付き添わなければ病院へも行けない。もともと早く帰国できていれば、違つ人生もあったのでは。

国策に翻弄された残留孤児たちは戦後80年を迎え、4世のひ孫もいる。一家が集まる機会もあるが、中国語を解さない孫たちとの間に言葉の壁が立ち、戦争の影響が尾を引く。

選挙結果の紙面が、スマホで見られる(購読者限定、無料)

私の一票

保育士の処遇改善を

■第一幼児教育短期大学2年
川崎 千佳さん(25)
霧島市準人町見次



愛情を持って、子どもだけである大切な仕事。低賃金だとなく、保護者にも安心感を与えられる保育士を目指している。命をつたえ改善が必要だ。少子化問題に関心がある。経済的余裕がないと、子どもを産み育てることが難しいと思う。結婚・出産に関して、名字変更のしやすさや産後のキャリア形成

など、女性特有の負担を軽減する施策や、子育て世代への支援を充実してほしい。最近、ある候補者のPR動画がYouTubeで流れているのを見た。政治に興味を持つきっかけにはなるが、訴えが漠然と、具体的なイメージが見えない。その場しのぎではなく、長期的な視座を持った人こそ一票を投じた

男性(43)は祖母(82)が残留孤児で小学生の頃、来日した。「兄弟で中国語を話せるのは長男の自分だけ。僕らの世代になるともうどうもつかず。一般の中国人や日本人とは違う生き方をし

(兵頭昌岳)

国の行く末どう描く

参院選鹿児島選挙区 候補者討論会

南日本新聞は参院選公示前の6月23日、鹿児島選挙区(改選数1)の立候補予定者による討論会を鹿児島市の南日本新聞会館で開いた。無所属新人の尾辻明美氏(44)＝立憲民主系推薦＝、参政党新人の牧野俊一氏(39)、自民党元職の國田修光氏(68)＝公明党推薦＝の3人が、物価高騰対策や消費増税への考え方などを巡り論戦を展開した。2回にわたり、要旨を紹介する。



討論会に臨む(右から)國田修光氏、牧野俊一氏、尾辻明美氏
＝6月23日午後、鹿児島市の南日本新聞会館(佐伯直樹撮影)

最も訴えたいこと

尾辻氏 地方の代弁者務める
牧野氏 減税と積極財政両立
國田氏 経験豊富な「即戦力」

尾辻氏 参院選は、地方の代弁者としての責任が大きい。特に、地方の若者が、国政に関与できる機会を創出したい。地方の課題を、国政の場で訴えたい。

牧野氏 参院選は、減税と積極財政の両立が求められる。地方の経済を活性化させるためには、減税による企業の負担軽減と、積極財政による公共事業の推進が不可欠だ。

國田氏 参院選は、経験豊富な「即戦力」が求められる。地方の課題を、国政の場で訴えたい。特に、地方の若者が、国政に関与できる機会を創出したい。

物価高騰に必要な対策

國田氏 日本は、物価高騰の被害を受けている。特に、地方の若者が、国政に関与できる機会を創出したい。地方の課題を、国政の場で訴えたい。

尾辻氏 参院選は、地方の代弁者としての責任が大きい。特に、地方の若者が、国政に関与できる機会を創出したい。地方の課題を、国政の場で訴えたい。

牧野氏 参院選は、減税と積極財政の両立が求められる。地方の経済を活性化させるためには、減税による企業の負担軽減と、積極財政による公共事業の推進が不可欠だ。

消費増税への考え

尾辻氏 参院選は、地方の代弁者としての責任が大きい。特に、地方の若者が、国政に関与できる機会を創出したい。地方の課題を、国政の場で訴えたい。

國田氏 参院選は、経験豊富な「即戦力」が求められる。地方の課題を、国政の場で訴えたい。特に、地方の若者が、国政に関与できる機会を創出したい。

牧野氏 参院選は、減税と積極財政の両立が求められる。地方の経済を活性化させるためには、減税による企業の負担軽減と、積極財政による公共事業の推進が不可欠だ。

持続可能な地域づくり

國田氏 参院選は、経験豊富な「即戦力」が求められる。地方の課題を、国政の場で訴えたい。特に、地方の若者が、国政に関与できる機会を創出したい。

尾辻氏 参院選は、地方の代弁者としての責任が大きい。特に、地方の若者が、国政に関与できる機会を創出したい。地方の課題を、国政の場で訴えたい。

牧野氏 参院選は、減税と積極財政の両立が求められる。地方の経済を活性化させるためには、減税による企業の負担軽減と、積極財政による公共事業の推進が不可欠だ。

4候補 主な動き

- ◆尾辻明美氏 終日街宣
鹿児島市
 - ◆牧野俊一氏 終日県外
島市の喜入、坂之上、谷山、中山、鶴池、宇宿、星ヶ峯、常盤、松元、武蔵、鹿児島市中央駅、天文館
 - ◆國田修光氏 終日県外
 - ◆山本貴平氏 終日県外
- ※時間は目安。変更もある



大石
今朝はもう
ひとつ盛りだく
さんの情報『集成
館』の集大成
(朝)

世界史の中の鹿児島

鹿兒島 船橋 千歳

鹿児島は、世界史の中で重要な役割を果たしてきた。特に、鹿兒島と船橋は、その中心地として知られている。この本では、鹿児島と船橋の歴史を、世界史の文脈の中で紹介する。

近代化の発端、日本をリード

鹿児島は、日本近代化の発端となった。特に、鹿兒島と船橋は、その中心地として知られている。この本では、鹿児島と船橋の歴史を、近代化の文脈の中で紹介する。

集成館 あす世界遺産登録10年

鹿児島は、世界遺産に登録された。特に、鹿兒島と船橋は、その中心地として知られている。この本では、鹿児島と船橋の歴史を、世界遺産の文脈の中で紹介する。

鹿兒島に最先端の工場群

鹿児島は、最先端の工場群を築いた。特に、鹿兒島と船橋は、その中心地として知られている。この本では、鹿児島と船橋の歴史を、最先端の工場群の文脈の中で紹介する。

「私たちの宝」次代に継承

鹿児島は、私たちの宝を次代に継承した。特に、鹿兒島と船橋は、その中心地として知られている。この本では、鹿児島と船橋の歴史を、私たちの宝の文脈の中で紹介する。



大石

共に保存版です。切り抜きをアルバムに保存しませんか？







ゼンチャン

アメリカのテキサスで、異常気象による大洪水により多くの子供や行方不明者がでているみたいです。トランプが現地に視察行くそうですが、異常気象条約から脱退して居るトランプ現場を見てどんな感じを抱くのか(驚く)

西山



ドナルド・トランプ大統領の Sunday Truth Social メッセージ

「私はちょうどテキサス州カー郡の大規模災害宣言に署名しました。これは、勇敢なファーストレスポnderが必要なリソースをすぐに入手できるようにするためです。これらの家族は、多くの命が失われ、多くの命が行方不明になるという想像を絶する悲劇に耐えています。私たちの素晴らしい米国沿岸警備隊は、州のファーストレスポnderとともに、850 人以上の命を救ってきました。神は家族を祝福し、神はテキサスを祝福します!」



西山

ファーストレスポンスとは、ご存知のように何か起こったとき、文字通り最初に駆けつける消防士、警察官、今回は沿岸警備隊(コーストガード)であったようです。コロナパンデミックのとき、ファーストレスポnderは、お医者さんや看護師さん、薬剤師さんなどでした。



木場

アメリカテキサス州大水害たくさんの方がなくなっておられるようです。



西山

7月4日独立記念日テキサス州中部で発生した壊滅的な鉄砲水は、グアダルルーペ川沿いの少女たちのためのキリスト教のキャンプ・ミスティックの20人以上を含む100人以上が災害に遭遇した。

災害発生場所は、オースティンの西約100マイル、サンアントニオの北西65マイル。



浜崎

久々の灰神楽参った！雨が欲しい。

西山



今日7月9日10時48分の映像です。桜島が灰で覆われています。
鹿児島在住の皆様本当に大変だと思います。



永野

吉野は降っていません
でも暑い☺(?)
お部屋で過ごしています♪
酢豚!?食べたい
レシピ考えて?いるところ

朝顔が元気が無い
森さんたく!?元気がよかねー



森

今年は日中友好朝顔の種が沢山採れそうです!



ゼンチャン

何年ぶりか鹿児島市内灰神楽で風向きが例年とは違い市内に噴煙がきて
ます。猛暑と灰が一緒になって何時まで続く事かと心配です



西山

ウォルマートは、7月4日の週末に悲惨な洪水に見舞われたテキサス州中部のコミュニティに、顧客からの寄付を含めて50万ドルの助成金と現物寄付を行い、赤十字社や救世軍などの地元のパートナーに食料、水、その他の必需品を提供している。

カービルのウォルマートスーパーセンターでは、無料で温かい食事を提供し、他の企業と協力してランドリートラックとシャワートラックがこの地域に送っている。



大石

西山さんのいつもながらの情報収集力と洞察力に感服!!大石



ゼンチャン

さすが西山さんテレビのニュースよりも詳しく情報がわかりアメリカの素早い行動力にはさすがだあと感心してます。

西山

生意気なことを言うと、テレビも新聞も私と同じような情報源から得ていると思います。時間さえかければ結構詳しいことが分かります。

米国でも庶民が災害にあった時、多くの企業が支援に参加します。特にスーパーマーケット企業は水ですとか食料ですとかを提供します。あまりニュースにはなっていませんが、被災者が欲しいもの手に入ると有り難いものにビールがあるはずです。

米国企業が救援に積極的に参加する。背後には、私は宗教的な考えがあると思っています。ここで言う宗教的は、道徳的とか思いやりと言い換えてもいいと思います。米国には悪いことをする連中がたくさんいますが、慈善活動を積極的に行う人たちも大勢います。

人に親切にすることや礼儀正しくすること、労働の価値などは早くから教えられているようです。日本は受験勉強に力を入れすぎだと思います。テスト、特に入学試験で良い点数を取ることに力を入れ、人間の教育と言うのはほったらかしにされているような感じがします。いやそんな事はないと言うご意見もあるでしょう。そういう意見が多いことを期待はしております。



ゼンチャン

我々の高校時代は頭が良く成績が上位の生徒から医学部を受験させていた本人が医者になりたいと思ってなくても国家試験に合格すれば医者になれたその人間が医者に向いているかいないかは関係無く日本の医者は現在でも変わってないと思う。

医学部を卒業してから医者になる為の国家試験が日本とアメリカでは全く違う。

アメリカでは医者になる為には第一その人間が医者に向いているかいないかのテストが厳しくそこで合格しなければ、医学部を卒業しても医者になれないと言われています

どんな審査をするのか分かりませんが日本は国家試験に合格すれば誰でも医師免許がもらえ開業できます。

誤解のないように日本の医者にも立派な優秀な医者が沢山いますが最近の医者を観ていると患者と向きあってしつかり話し合いする医者が少なくなったような気がします。

西山

ゼンチャン、全くおっしゃる通りです。人の命を預かる医者にまず求めたい事は適性です。これは他の職業についても言えると思います。その職業に従事するのに性格や人柄が適してるかどうかは極めて重要だと思います。現在自衛隊のトップ統合幕僚長吉田圭秀(よしだ よしひで)は、早くから軍人を目指したのではなく、東大工学部卒業にあたり就職先として自衛隊を選んだ人です。実質初めての一般大学卒業者だそうです。自衛隊のトップは防衛大学出身者にしてほしいと思いますね。





ゼンチャン

最近の医者は患者の顔は見ずにパソコンの画面だけを見て話しされるようですね



西山

そのパソコンの入力は、見事と言うほかありません。
本当に間違いなく入力しているのでしょうかね。



隈元

武岡は、全然ふっちゃらんど！



木場

鹿児島市内は、桜島の噴煙で、降灰、大変のようですね。



永野

水道代が上がります



木場

清掃、水道たくさん使います。これも痛手ですね。よく分かりました。暑さの中での作業も大変ですね！



西山

久々に大石君と電話で語った。ご無沙汰続きで御免と言ったら、御無沙汰なんて全然思っていないよ、毎日玉竜八期 LINE で語り合っているじゃない。うれしい返事であった。



浜崎

森さんのスタンプ面白い！そして的確。



森

今日古いアルバムをめくっていたら偶然
名簿に包まれたままのこの写真が出てきました
いつの同窓会でしょう？



- 四元政明(5)
- 有馬珠江(5)
- 藤永辰成(2)
- 川原正道(2)
- 大石慶(4)
- 池田政司(1)
- 森山和枝(7)
- 隈元達雄(1)
- 種子田磨子(4)
- 前田順子(5)
- 武田ハツ子(6)
- 川上登美代(6)
- 福島麗子(7)
- 本田美恵子(6)
- 本田ルミ子(6)
- 河内ヤス子(7)
- 今里希代子(7)
- 竹之内弘子(5)
- 亀山梅子(3)
- 浜崎隆(4)
- 木原工子(5)
- 大迫美津子(7)
- 古市庄八郎(5)
- 西清隆(5)
- 松山広子(7)
- 橋口絹子(6)
- 津島幸子(6)
- 大津寛子(4)
- 増田淑子(6)
- 久保田順子(5)
- 有馬教子(6)
- 中村瑞代(4)
- 上原繁良(3)
- 南郷善之助(2)
- 崎山松美子(5)
- 桐原典子(4)
- 徳谷智江子(7)
- 岡月いずみ(6)

※ 女性の方は、旧姓で書いてあります。(現姓は、名簿を見てください)
※ (1)、(2)、..... は、3年生のときの組です。



永野

森さん 50年前ぐらいですか
私も隈元さんも若いね



浜崎

大相撲名古屋場所が新会場の IC アリーナで始まった。暑い名古屋で手に汗握る、熱い取り組みが始まった。あなたの、ひいきの力士は!



森

私は出席していないようです
玉龍八期創設時の写真でしょうか?
いつ頃どこで撮られたものか覚えていませんか?



大石

ぼくの前にいる人西清クン?
やはりそう! 清隆だったね。バレー部? 深くはないけどずーっと身近にいましたよ。
まるで恩師のような隆クンを始め錚々たる八期仲間たち…20年後に『天国八期会』で集まりたい。



ゼンチャン

西君ですね
この写真はいつ撮ったか分かりませんか



浜崎

玉竜同窓会総会の実行委員当番の、平成5年、1993年8月6日水害の後、サンロイヤルホテルでの記念写真です。32年前になります。
私の小さなカメラで撮った写真を横25cm縦9cm程に伸ばしたものです。14名亡くなられています。在りし日の楽しい思い出です。



西山

てっきり先生だと思っていました。名簿を見てそうでないことを知りびっくりです。



森

胸に花まで付けてるからてっきり招待された先生と私も思っていました



浜崎

あの頃は、髪がふさふさしていたので、
見間違えるはず、だって 32 年前ですよ。!



森

鮮明度を上げて
みました。



浜崎

森さんの技術、断然良いです。
女性が素敵で、まぶしいです。



木場

浜崎さんが言われるように、森さんのおかげで、眩しいぐらい、見えます。

西山
折角ですから
拡大して……





浜崎

忙しい一日でした。朝ドラを見たら、メジャーリーグのオールスター。
お昼ご飯を食べたら、大相撲、横綱二人がこけたら、ドイツと日本のバレー、
そして、女が吠える夜を見て、ようやく寝るところです。疲れた。おやすみなさい。



木場

浜崎さん、よく頑張っておられますね！森さんの言われるように、
おやっとさあでした
実は、私も同じく、過ごしました。がつつい疲れた1日でした。



大石

小森くん！よかったネ。次は書込みレッスン頑張って(ガンバレ)



西山

私は浜崎さんや木場さんがやっていることを1つもしませんでした。
それでも忙しい1日でした。人それぞれということでしょうか。
小森さん、大石インストラクターの指示に従ってやれば人並みにできるようになります。頑張ってみんなの仲間入りをしましょう。



浜崎

今日は、朝一番に歯医者さんへ、何十年ぶりの抜歯でした。大きな梅干しをし
ゃぶるつもりが固い種をもろに噛んで、ぐらぐらに、だままだまし半年位がまん
していたけど、限界でした。
麻酔で唇がしびれて、初めてのキスをしたときみたいになりました。🍷



隈元

私は、昼一番に有村眼科でした。白内障の手術から4ヵ月近く経ちましたが、
右眼が少し霞んでいるくらいで、毎月の視力検査でも順調にいつていると言
われています。
歯科は、毎月クリーニングしてもらっているのです、問題ありません。
あと内科にも毎月通っています。[苦笑]



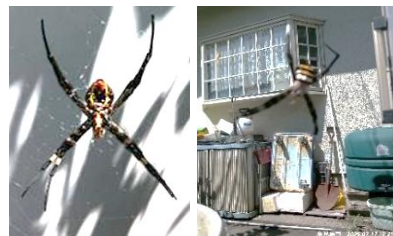
西山

その年で歯を抜くとは自慢できることですね。また毎月歯のクリーニングに通っているのも驚きです。お二方とも極めて健康的で、かつ健康に留意しているものと思われます。長生きしますよー。



森

子供の頃こんなのを採ってきて蜘蛛合戦を
しませんでしたか？



木場

ひまわりのムーランルージュ及びレギ
ュラー版黄色の2種類が屋上庭園で
咲きました。



永野

鹿児島は雨
向日葵のはな
綺麗に咲きましたね
永野宅はまだつぼみ

木場さんお花の育てかたお上手ですねー



永野

屋上庭園
木場さんの専用

私は今、朝顔にはまっています？



浜崎

木場さん、いろいろな花の写真、眼福です。花を愛する人は、心優しい人。ひ
まわりを見ると、壮大なウクライナのひまわり畑をバックに繰り広げられた映画、
ひまわりを思い出します。

ソフィヤ ローレンとマルチェロ マストロヤニ それに可憐なリュドミラ サベールエワ
が三つ巴の戦争の影を引きずる悲恋の物語。今も鮮烈に思い出します。

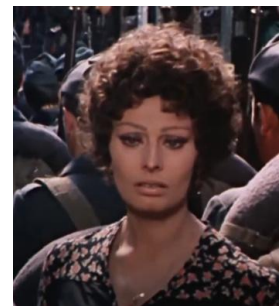
ヘンリー・マンシーニの哀調を帯びた主題曲もよかった。



ゼンチャン

あの映画の壮大な美しいヒマワリ畑のウクライナUAは何
処に消えたのか世界中から戦争が無くならない、世の中が何
時になったら来るか願っています。





木場

大谷選手の写真はフェイクという意見も出ています。私は信じたいと思っています。



森

まだ名前も発表してないのに赤ちゃんの顔を出すはずがないでしょう。多分AIで作ったフェイク画像と思います。

編集人から:「大谷選手と娘さんの写真」は確認が得られるまで掲載保留にします。

風船爆弾をつかった少女たちの抵抗

戦後 80 年 特別寄稿 あの戦争と私

小林 エリカ 作家

2025/07/09

「どうしてわたしは知らされていないなかったんだろう」。それは、ないことにされたままの歴史

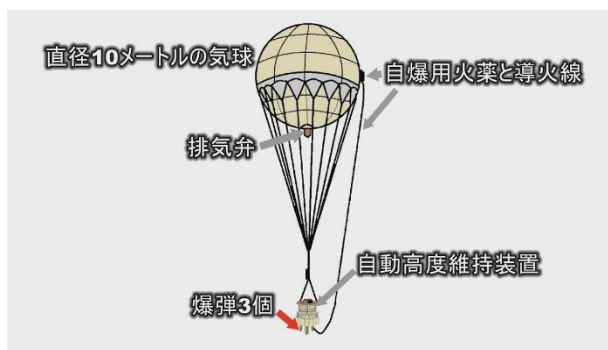
うゐのおくやま けふこえて
あさきゆめみし ゑひもせす

一昨年、我が家のプランターには、どうにも見慣れぬ斑模様の茎をもち傘のように葉を広げる奇妙な植物が、ぐんぐんと育っていた。

コンニャクである。

私は味噌田楽だとか、ダイエット用のコンニャクゼリーなんかでコンニャクを食べることはあっても、コンニャクというあの半透明で弾力のある物体が、果たしていったい何からどんな風にできるのか、長年全く想像したこともなかった。

コンニャクは、コンニャク芋からつくられている。



とはいえ、コンニャク芋というのは1年植えただけではその芋がまだ小さくしか成長しないから、秋に地中から掘り出し冬には倉庫へ寝かせ、春にまた植え、2年目、あるいはそれを更に繰り返した3年目に掘り出した芋を使うという。しかも、同じ畑に植えると連作障害がおきるから、一度掘り出したコンニャク芋は、翌年また別の畑に植え直さなくてはならない。よ

うするに、えらく手間がかかる食べ物である（その割にはスーパーで売っているコンニャクが安すぎやしないだろうか）。

しかもコンニャク芋というやつは、生のまま素手で触れたりすれば里芋の何倍もの痒みを引き起こすそうだから、気をつけなければならない。手袋をして輪切りにして干して粉にしたものを使うか、茹でて使う。ちなみに、コンニャクの粒粒した灰色は海藻を練り込んでいるためだそうで、純粋にコンニャク芋だけを使えば白いコンニャクができあがる。

これらの知識は、みんな下仁田でコンニャク畑をやっている上州下仁田屋神戸農園の方と、下仁田こんにゃく観光センターの方に教えてもらった。私は手取り足取りコンニャク芋の収穫体験からコンニャクづくりまでさせていただいた末、コンニャク芋までわけていただき、遂にそれを我が家でプランターに植えてみた、という次第であった。

ところで、なぜこんなにも私がコンニャクに執心しているのかというと、そのはじめは、風船爆弾であった。

風船爆弾というのは、第二次世界大戦中、日本軍が陸軍登戸研究所で極秘に開発した秘密兵器である。「いろは歌」のいろはにほへと、の「ふ」からとって、「ふ」号作戦という暗号名で呼ばれた。

直径約 10 メートルの風船に爆弾と焼夷弾を吊るし、日本上空の偏西風であるジェット気流に乗せて飛ばして太平洋を約 2 日で横断させ、アメリカ本土直接無差別攻撃を目論んだ。いずれは生物兵器、牛痘ウイルスを搭載しようと研究所では人体実験も含めた研究開発もすすめていたが、それは実現には至らなかった。

その風船の原料は、純国産の和紙とコンニャクであった。

かのコンニャクを糊として使い、和紙を貼り合わせた(和紙にコンニャクを塗ると、和紙がゴムのようになり強靱になり防水効果も得られるのだ。果たして、ゴムで風船をつくるという案も持ち上がったが、もはや植民地で採取したゴムを船で本土へ運ぶことはままならない状況だったために実現しなかった)。

風船爆弾は、1944 年 11 月から 1945 年 4 月まで、太平洋側の海岸、千葉県一宮、茨城県大津、福島県勿来(なこそ)から約 9300 発が放球され、アメリカ大陸へ到達したと考えられているのは約 1000 発。

そのうち 1 発はワシントン州ハンフォードサイト近くの電線に落下し、アメリカの原子爆弾開発マンハッタン計画でやがて長崎に投下されることになる原子爆弾のコア、プルトニウムを精製していた原子炉の電源を落とし、その復旧のため原子爆弾製造が 3 日遅れたともいわれている。

また 1 発はアメリカ、オレゴン州ブライに到達し、教会の日曜学校でピクニックへきていた子ども 5 人と妊婦 1 人の 6 人が死亡した。それは第二次世界大戦中唯一、アメリカ本土での犠牲者になった。

かの風船爆弾をつくったのは、満州を含む日本全土の女学生たちだった。

「手先の柔らかい若い女学生が和紙の貼り合わせに適している」ということで、女学生たちが、少女たちが、選ばれ、動員された。

小倉造兵廠に動員された女学生たちは、学徒特攻隊と名づけられ、1 日 2 交替、飲んだり食べたりする時間さえないまま昼と夜の 12 時間、やがて 15 時間ぶっつづけで働き、白い 2 粒の錠剤を飲まされていた。おそらく、覚醒剤だった。

東京の街でも、風船爆弾づくりがおこなわれた。

そのうちのひとつの場所は、東京宝塚劇場。

そう、いまなお有楽町にある、あの少女たち憧れの地、東京宝塚劇場である。

直径 10 メートルの風船を膨らませるにあたり、秘密兵器であるからして外からは見えない天井高のある場所が必要、ということで劇場が選ばれた。そもそも戦時下にあって、劇場などというものは



風船爆弾製造の様子① (林えいだい氏所蔵)

「不要不急」のものだったのだから。劇場は閉鎖され、軍のものになっていた。かつてその劇場で公演していた宝塚歌劇の少女たちは劇場を追いつけられ、慰問公演のために北支の前線へ遣られるか、女子挺身隊として工場で働くことになった。

そうしていまや、兵器工場と化した東京宝塚劇場へ動員されたのは、雙葉、跡見、麴町の高等女学校 2 年と 4 年、いまでいうところの、中学 2 年と高校 1 年、10 代の女学生たちであった。

私が風船爆弾について知ったのには、ふたつのきっかけがあった。

ひとつは、これまで私は長らく核の歴史をテーマに『光の子ども』というマンガを描いていたので、アメリカのマンハッタン計画を調べるうち、風船爆弾という兵器のために原爆製造が遅れたという話に辿り着いたこと。ついでに言えば、ドイツで放射能研究を行っていた科学者たちが参加していた毒ガス開発について調べてゆくなかで、日本でも毒ガスを作っていた大久野島を訪れ、そこでも風船爆弾づくりが行われていたことにも、私は出くわしていた。

もうひとつは、私は小学校から高校まで、キリスト教カトリックの学校へ通っていたのだが、その保護者会で母が聞いてきた話を、私が覚えていたこと。それは、同じくカトリック校である雙葉高等女学校の生徒として、かつて風船爆弾をつくった、というシスターの話であった。

私の中で、そのふたつが結びついたとき、風船爆弾というものに、俄然興味が湧いた。

そんなわけで、私は、東京宝塚劇場での風船爆弾づくりをテーマに小説を書いてみたいと思うに至ったのである。しかしそれを書き上げるまでに、気づけば実に、6 年以上もの年月がかかってしまった。

まあ、コンニャクを育てたり、和紙漉きも楮(こうぞ)剥きもやらせてもらったり(楮もいただいてきて庭のプランターで育てようとしたが成功しなかった)、そんなこんなで、やたらと時間と金ばかりがかかってしまった。このタイムパフォーマンス、コストパフォーマンスが叫ばれる資本主義社会において、実に我ながら驚くべきのろさと生産性のなさだが仕方がない。

というのも、風船爆弾づくりそのものに関しては、全国各地でおこなわれていたために、それなりにたくさんの本や記録もあるのだが、東京宝塚劇場の風船爆弾づくりに関しては、それが殆どなかったのだ。

私を知るかぎりまとまった本というのは、雙葉高等女学校の生徒として自身も動員され風船爆弾づくりにたずさわった南村玲衣さんが私家版としてまとめた『風船爆弾 青春のひとこま 女子動員学徒が調べた記録』1 冊きりだった。

というわけで、私は小説よりもまず、そこでおこなわれていたことを仔細に調べあげるところから、はじめなければならなかったのだから。

とはいえ、南村さんが本を書き残してくださったことと、私が南村さんにお会いしてお話を聞くことができたのは、幸運だった。

南村さんは、戦後 40 年経ったある日、東京の街をあるいていたところ、本屋のショウウィンドウに並ぶ本の表紙に、かつて自分がつくっていたのと同じ風船の写真を見つけたという。それはおそらく、林えいだいさんによる本、『女たちの風船爆弾』、あるいは『写真記録・風船爆弾 乙女たちの青春』だったと思われる。南村さんは、そこに

かかれていた風船爆弾というのを見て、はじめて自分がつくらされていたものが兵器であり、それが、実際人を殺したことを、知ったという。



子育て中の主婦だった南村さんは、それをきっかけに、かつて自らの手でつくった、つくられたもののことを独自に調べ始める。防衛庁へ通い、かつての同級生たちに話を聞いてまわった。そうしてそれを、本にまとめ、自費出版した。

そのお話を聞いた私は、思わず「なぜそんなにしてまで？」と尋ねてしまったのだが、南村さんはこうおっしゃった。

「どうしてわたしは知らされていなかったんだろう。隠されていた、っていう気持ちはあった。秘密にされていたことへの抵抗」

私は、そうして、南村さんから「抵抗」という言葉を受け取ってしまったのだった。

それを聞いてしまったからには、なんとしてでも、この物語を書き上げなければならない。

そもそも、私にとっては、風船爆弾というものが、戦後 40 年が経つまで、知らされていなかった、なかったことにされていた、という事実もまた、衝撃だった。

かつて風船爆弾の研究開発をおこなっていた陸軍登戸研究所も同じであったという。そこに広大な跡地は残されていたものの、戦中そこで何がおこなわれていたのか、戦後 40 年が経つまで、知られていなかったというのだ。

陸軍登戸研究所でおこなわれていたことは極秘の計画で風船爆弾は秘密兵器だったから、敗戦と同時に、軍は証拠を隠滅し、それを全てなかったことにした。書類を焼き、そこで働いた人たちは、ここで見聞きしたことは墓場までもってゆくようにと、箝口令を敷かれていたから、誰もそれをすすんで話そうとはしなかった。実際、戦犯の容疑をかけられかねないことでもあったから。

そこで何があったかがようやく知られるようになったのは、地元で高校教師をしていた渡辺賢二さんと高校生たちが一緒になって、平和学習の一環としてその跡地を、ひたすら歩き続けた結果であった。そこを歩いている人たちがいるという噂を聞きつけて、人が集まってきた。そのうち、かつてそこで働いていた、という人たちもやってきた。そこを一緒になって歩きながら、ひとりまたひとり、ぽつりぽつりと、渡辺さんに、高校生たちに、話を打ちあけはじめる。

「『40 年過ぎると、さみしくなってね』と言う方がありました。高等小学校を出て一生懸命働いた。それが正しかったか間違っていたかもわからない、けれどそこでやったことは墓場まで持ってゆけと言われていたから、話すこともできない。自分の歴史が消えたみたいになる。それがだんだん苦しくなった」

やがてそこへ、かつて陸軍登戸研究所でタイピストをしていた関コトさんがやってきて、渡辺さんに分厚い書類の束を手渡した。それは、敗戦と同時に焼けといわれた、陸軍登戸研究所の機密書類だった。当時 15 歳だった関さんは、けれどその青春をかけて自らタイプした書類を(和文タイプというのはすごく習得も難しいし、タイプにかかる労力というのは半端ではないのだ)、どうしても燃やすことができなかった。こっそり家へ持ち帰り、保管していたのだった。

それは防衛庁にさえなかった、貴重な資料であった。それにより、はじめて陸軍登戸研究所の全貌が明らかになったという。

そのようにして、渡辺さんをはじめ、高校生たち、地元の人たちが一緒になって活動が続け、遂には陸軍登戸研究所の建物を保存し、明治大学平和教育登戸研究所資料館をつくりあげるに至った。それは、地元で暮らす、ひとりひとりの想いと、力と、行動で、できあがった、資料館になった。

高校教師を定年退職した渡辺さんは、いまなお、その地を歩き続けている。私もそのツアーに参加して、話を聞かせてもらったひとりである(明治大学平和教育登戸研究所資料館のサイトから、だれでも無料でツアーも予約できるからぜひ参加してみて！)。

渡辺さんはいまなお、これまで話せなかったけれどいまならと、話をしに来てくれるかもしれない人を待っているし、歩くことをやめない。

私は、また思わず「いったいどうしたらこんなことができるのですか？」と尋ねてしまったのだが、渡辺さんはこうおっしゃった。

「待つことです。焦らずに、ひたすら待つこと。それから、若い人たちと一緒にやることです」

正直、私はこれまで「歴史」というものは、教科書に書かれていることを、とにかく真面目に勉強さえすればいい、と信じていた。だれか偉い人だとか、賢い人だとか、学者だとか、調べたり、まとめたりしてくれるものを、ただ学べばいい、とばかり思っていた。

けれど、実際にあった過去のことが、40 年もの間、「歴史」からなかったことにされていたのだ。教科書にも、歴史書にさえ、書かれていなかった。そしてそれは、高校教師が、高校生たちが、知ろうと、聞こうとしなければ、なかったままになっていた、ないことにされたままの、ことだったのだ。

かつての陸軍登戸研究所でのことを語った科学者のうちのひとり伴繁雄さんは、これまで大人相手には決して口を開かなかったという。けれど、高校生になら語ろう、とかかつて自らが行った人体実験についてまで、告白した。

私は、ひとりひとりが、決して無力なんかではないことを知る。

そんなこんなを経て、『女の子たち風船爆弾をつくる』という本が、できあがった。

ミュージシャンでもある寺尾紗穂さんの企画で、それを舞台作品にもしてもらった(その音楽朗読劇『女の子たち風船爆弾をつくる』の映像版を 2025 年 8 月 16 日に日比谷図書文化館日比谷コンベンションホールで上映予定！ ちなみに日比谷公園は戦時中、風船爆弾づくりに動員された女の子たちの同級生のうちのひとり、有楽町駅前で空襲で死んだ女の子の死体が並べられていた場所でもある)。

けれど、それで話は、まだ終わらない。

本を読んだ方が、舞台を見た方が、新聞やラジオなどメディアインタビューを見た方が、私にご連絡をくださり、教えてくれた。

私の母が、私の祖母が、私の母の親友が、東京宝塚劇場で、風船爆弾をつくっていました。

いま、私はそのお話をひとつひとつ聞き、文藝春秋の文芸雑誌「文學界」にぽつぽつと書かせてもらっている。その話や女の子たちが遺した物たちとともに、東京・六本木の Yutaka Kikutake Gallery で展覧会もやった。

かつて雙葉高等女学校で動員され風船爆弾づくりにかかわった女の子のうちのひとり、Y さんには、お孫さんと X(旧 Twitter)を通じて出会えた。Y さんのお孫さんが、私のインタビューの引用とともに Y さんのことをポストして、それがきっかけになった。なんと 21 世紀である。

Y さんは 2024 年に新型コロナウイルス感染症で亡くなっていて、私は直接お会いすることはできなかった。けれど、Y さんのお孫さんが、Y さんの残したファイルを手渡してくださった。あまりにも完璧に整理されたそれは、あたかも、誰かに手渡されることを見据えて準備されたかのようなだった。

そこには Y さんが高等女学校時代に学校の授業で書いたとおぼしき書と絵がしまわれてあった。変体仮名で書かれた「いろは歌」。それから、日本画の様式で描いた Y さん自身の左手の絵(昭和 17 年、三年「い組」というクラス名、自身の名前が添えられている)。

Y さんがそれを書いた、描いたのは、いずれも、「いろは歌」の暗号名を持つ「ふ」号作戦に動員されるよりも、その手が過酷な風船爆弾づくりで生涯にわたり腫れて節が変形してしまうよりも、前のことであつた。



「Y の左手 (三年い組)」昭和 17 年 (小林氏提供)

Y さんは戦後ずっと、あの戦争について書かれた本を探しては熱心に読み続けていたという。けれど、いくら読んでも、答えは見つからなかったのかもしれない。死ぬまで、その書と絵を大切に保存し続けた Y さんの気持ちを、私はわかることはできない。けれど、それでも、「いろは歌」を、もはや存在しないその左手を前に、私は、胸が詰まる。

かつて麹町高等女学校から動員され風船爆弾づくりにかかわった女の子のうちのひとり、T さんには、娘さんを通して出会えた。T さんの娘さんは、明治大学平和教育登戸研究所資料館で山田朗館長と対談したおり、わざわざ私を訪ねきてくださった。私の本を読んで、T さんの娘さんは、こうおっしゃった。

「かつて母が話してくれた『をば中尉』の話は本当だったんだ」

東京宝塚劇場での風船爆弾づくりの際に訓示をしていた軍の中尉は、「秘密をば漏らさぬように」

といった具合で〇〇をばを連発するものだから、Tさんたちは「をば中尉」のあだ名をつけて、何回

をばを言うかこっそり数えて笑っていたという。私は、そのあだ名を、麴町学園の先生から手渡された、かつての卒業生座談会のメモに見つけ、本に書き入れていたのであった(ちなみに座談会メモでは「おばちゅう」と記されていたので、その由来はわからなかったのだったが、Tさんの娘さんの証言でそれが「をば中尉」であるという真相を、はじめて知った)。

Tさんはいまも生きている。けれど、いま、Tさんはもう、口をきくことができない。

Tさんの娘さんはしかし、Tさんが風船爆弾づくりをしたことやかつての話を以前にビデオに撮影し聞き取りしていて、それを書き起こしてまとめていたものを、私に手渡してくださった。

Tさんの手は、冬がくるたび、赤く腫れあがっていたという。

Tさんは、自分の手を、「タラコみたい」と言う。Tさんの娘たちは、「ウィンナーみたい」と言う。その頃のウィンナーは、赤かったから。

Tさんは、娘の幼稚園卒園式の謝恩会で、神父様にお茶を出したりしなくちゃならなかったとき、テーブルの上に手を出すのが、本当に恥ずかしくてたまらなかった、という。

私は、私の知らなかった戦争を、戦後を、ひとりひとりの人生を、知る。

けれどそこにつくくわえたいのは、かつて風船爆弾をつくった女の子たちが通ったのは、高等女学校だったということ。その女の子たちは、読み書きができた。だから、その記録を残すことができた、ともいえる。当時、高等女学校へ進学できた女の子たちは、きわめて裕福で恵まれている、稀な存在だった。

思い返せば、私の祖母は、新潟の雪深い村に生まれ、16歳で東京へ出て働いていたから、尋常小学校を6年までしか出ていなかった。彼女は畑仕事の手伝いも忙しかったし、まともに勉強もできなかったから、読み書きがうまくできなかった。自分の名前や買い物のメモ程度をカタカナ混じりに書くことはできたけれど、本を読んでいるのも、長い文章や日記を書いている姿も、私は見たことがない。

彼女はひたすら編み物をしていて、家へ遊びに行くといつもテレビがついていた。

私は、『女の子たち風船爆弾をつくる』を書きながら、何度も、私の祖母のことを想った。

まだ幼い私に話してくれた、彼女の話の思い出す。

庭にあった大きな杉の木のこと。鍋に豆腐と生きたどじょうをいれて火にかけるとやがて豆腐にびっしりどじょうがつまった料理ができあがること。片目が見えない姉を落とし穴に突き落とした同級生の男の子がやがて戦争で兵隊にとられ戦地で死んでざまみろと思ったこと。

その話は、決して書き記されなかった。

何かを書き残すことができた女の子たちの向こうには、何かを書き残すことができなかった女の子たちがいることを、私は忘れずにいたい。

かつて、男たちは兵隊になって死ねば、靖国神社にその名前が刻まれ、英霊になった。

沖縄戦や従軍看護婦といったごく一部の例外はあれど、女たちは、死んでも、その名前が刻まれることもないし、英霊になることもない。

英霊の聲、に女の子たちの声は、含まれないし、聞かれない。

けれど、それでも、その女の子たちの声を、生を、名前を、大事だと思ったひとりひとりが、それを記憶し、記録し、私に手渡してくれた。私は、いま、ここに、それを、ひとつ残さず、きちんと、刻みたい。



かつて雙葉高等女学校で動員され風船爆弾づくりにかかわった女の子のうちのひとり、やがて前述の Y さんと同級生になる M さんの幼馴染の親友 R さん、かつぱちゃんというあだ名で呼ばれていた女の子の息子さんが、私に 1 枚の写真を手渡してくれた。

それは、幼稚園時代の遊戯会で、M さんとかつぱちゃんが一緒にダンスを踊る写真だった。

M さんとかつぱちゃん ©Erika Kobayashi, Yutaka Kikutake Gallery

やがてふたりは別々の学校へ通うことになるのだったが、生涯にわたりその友情は続いたという。かつぱちゃんの息子さんは、その母から、M さんが東京宝塚劇場に動員されていたときの話を聞いて記憶していて、それを私に話してくれた。

コンニャク屋さんのおやじさんが劇場内の階段でこけて骨折した。

全ては軍事機密なので決して話を漏らしてはいけないときついわれていたというけれど、女の子たちの口を完全に塞ぐことなんて、できなかったのだろう。

そして女の子たちの友情は、血縁を越えて、どこまでも、その記憶を運ぶ。

これらはどれも、決して大文字の「歴史」には書き記されることがない、些細なことかもしれない。けれど、私にはこうしたひとつひとつの話が、とてつもなく尊い、至極大切なものに思える。

そして何より、それを手渡してもらえたことは、まぎれもなく奇跡みたいなことだと、私は思う。

私は、いまそれを、刻み、また次へと手渡すために、全力を尽くしたい。

これを読んでくださったひとりひとりにも、そのために力をかしてもらいたい。どうかよろしくおねがいします。

さて、冒頭に紹介した私のコンニャクについて話を戻そう。

真夏に葉は順調に生い茂り、最高のコンニャク芋が収穫できるものと、秋に土を掘り返したら、どうしたとか、埋めたときよりも小さく縮んだコンニャク芋があらわれた。失敗である。

完全に傷心の私であったが、『女の子たち風船爆弾をつくる』の本が毎日出版文化賞という賞をいただいたお祝いに上州下仁田屋神戸農園からまたコンニャク芋をいただけることになったので、そのうちのひとつを明治大学平和教育登戸研究所資料館にお贈りすることにした。

そうしたら、かのコンニャク芋を実に丁寧に保管してくださり、春に芽が出たところで、楮の木のとなりに植えてもらえた。そのうえそこに寄贈プレートまで立ててくださるという。

この夏、遂に、楮とコンニャク、風船爆弾の原料となった植物たちが並んで生える姿を、私はこの目で見るができるかもしれない。私が叶えられなかったものを資料館に託すことができ、わくわくしている。

もうすぐ戦争が終わって 80 年目の夏が来る。

かつて、風船爆弾をつくった女の子たちが、いま、ひとりまたひとりと、語り、あるいは、語らないまま、亡くなってゆく。南村さんも、私が本をお見せするよりさきに、亡くなってしまった。彼女たちの戦争は終わらない。

私が、私たちが、聞くべきことは、受け取るべきことは、まだたくさんある。

source : 文藝春秋 2025 年 8 月号



ゼンチャン

おはよう

東京も梅雨明けした見たいですね。
今朝の不忍池は静かで観光客もなく
気持ち良い朝の風景写真ですね。



木場

上野公園、不忍池のハス凄いですね！



永野

不忍池のまわりのマンションに住みたい気持ち。



西山

そうですね、不忍池の向こうには、視界を遮るものがないので
眺めが良いと思います。朝日も直接差し込んできます。

不忍池のそばのマンションに引っ越される事は良いと思います。でも
空室があるかどうかは分かりません。

あそこからは桜島は見えない事をご承知おきください。





木場

もし、不忍池の近くに住めたら、長生きされることでしょうか？



森

家賃を払うのに寿命が縮まるかも



永野

どのくらいですか？



森

都心のマンションは億ションです。



西山

連日暑い日が続いております。皆様どのようにお過ごしでしょうか？

私は 5 時台か遅くとも 6 時ころには 10 分間の散歩、その後、必要があれば午後
後に買い物に出かけます。

多くの時間を部屋の中で過ごしております。これが 1 番良いように思います。

でも人によってはお出かけの方も多いかと思います。

大相撲ファンの方、大の里早くも三敗、誰が予想したでしょうか？



森

外には出たくありません



大石

見たことがありますか？



開花したリュウゼツランの前で校章を掲げる鹿児島玉龍高校生
＝23日、鹿児島市池之上町

校章由来の植物 創立85年に開花

鹿玉龍中・高

リュウゼツラン

鹿児島市池之上町の鹿児島玉龍中学・高校で、数十年前に一度咲くといわれるリュウゼツランが開花した。校章にデザインされ、同校のシンボリックな植物。今年の創立85周年を祝うように、真つすぐに伸びた茎の上で咲き誇る花を、生徒らは感慨深げに眺めている。開花したのは、校舎前の校訓を刻んだ石碑の周りに

植えられた10株ほどのうちの1株。4月ごろから花茎が伸び始め、7月初めから5〜6センチ近で黄色い花が咲き始めた。同校の校章はリュウゼツ



校舎の前で開花したリュウゼツラン＝23日、鹿児島市池之上町の鹿児島玉龍中学・高校

動画やゲームで
かごつま弁伝承
鹿大生製作・発表
方言の継承や記録に役立つ

「もつと派手な花かと思っ
たが、意外に清楚で驚いた。
中学から入って5年目、在
学中に花を見ることができ
て感激したと話している。
(下栗淳也)

上山

おはようございます

母校玉龍の校章が、竜舌蘭だつとは、初めて知りました。

しかも花まで咲くとはびっくりです。

いつも珍しいことや新しいこと教えてください 勉強になります。

皆さん今日も熱中症に気をつけて水分摂取を心がけましょう。



西山

さて、内閣総理大臣の去就も大変な
ところに来ていますが、大相撲も大
変な千秋楽を迎えています。

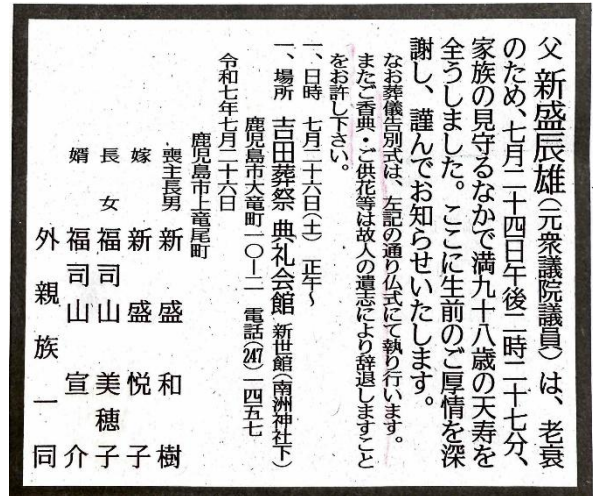
しかしこちらのほうはスッキリと結着
がつけられます。





大石

鎌田さんと二人で出席して来ました。



大石

満山一朗さんから、テレビ出演のお知らせです。

残念ながら鹿児島だけの放映？



大石

パート④迄あります。

観たいですか？

ハイ、イエエでお答えを？



森

ハイ



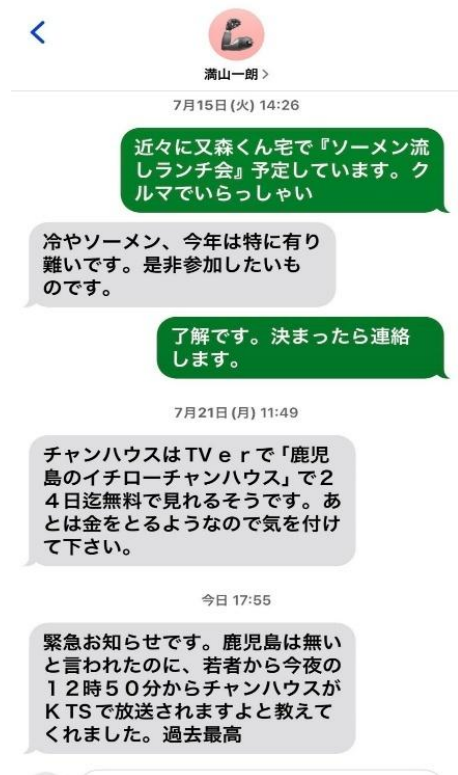
西山

すごいですね！まさに鉄人と言っていいでしょう。



大石

続きを観ますか？





森
見る



大石
おわり



森
鹿児島の一郎も殿堂入りか・・・それにしても凄いですね



大石
この4 @森繁部作で20分のYouTube動画を満山一朗さんに永久保存版でもプレゼント🎁と思うけど著作権侵害行為で罰金なんてこと^_^ないとは思いますが(プレゼント)(営利行為ではない)ので。



森
彼も録画してるんじゃないね？



大石
その可能性は半々かなあ



ゼンちゃん
動画を観ていると彼のガンはすでに消えているね

満山 一朗 (1939年6月12日生)
国内各地のバッティングセンターで、ホームラン記録を重ね続けていることで知られる。
通称:「鹿児島のイチロー」「バッティングセンターのホームラン王」「バッティングセンターの怪物」「燃料和尚」(モータージャーナリストとして執筆しているコラムでの通称)。

「鹿児島のイチロー」出演したテレビ番組

2007年4月29日、南日本放送
「人生フルスイング!～ホームラン王 イチロー物語～」

2007年6月21日、南日本放送で
『どーんと鹿児島』にて放送。

2008年2月7日、第32回JNNネットワーク協議会賞番組部門エンタ

テインメント番組。

2008 年 4 月 14 日、TBS ニュースバードの JNN ドキュメントでも放送。

2007 年 8 月 26 日、関西テレビ制作・フジテレビ系列で放送。

2008 年 7 月 17 日、NHK BS hi で放送。

2009 年 6 月 5 日、フジテレビ系列で放送

2009 年 8 月 12 日、日本テレビ系列で放送。

「リアルウォッチ」のコーナーで、通算
2000 本ホームラン達成を伝えた。



モータージャーナリストとしての活動

1970 年代の排ガス規制の際、日産スカイラインのスポーツ仕様の SU ツインキャブの改造を自動車工学に投稿したことが縁で、1983 年から雑誌自動車工学に「燃費和尚のクルマ社会アラカルト」という題名の不定期連載を、1980 年代後半の連載で燃費和尚という名前を編集長に付けられた。

著書: ザ・燃費の世界—自動車工学 - 1987 年 1 月、発行: 鉄道日本社。

頑固親父から『娘(ドライバー)へ』毒舌カーライフ説法 - 1997 年 8 月、発行: 鉄道日本社。

雑誌連載: 燃料和尚のクルマ社会アラカルト - 「自動車工学」での不定期連載コラム。

筆者の長年の実体験を基に燃費を題材にした連載を続けている。自ら所有する自家用車を実験車と位置づけ、数々の実験を行い、整備の大切さを訴えている。



大石

タイロンパワー主演のこの素敵なタイトルの映画、観たような気がするがよく思い出せません。八期の映画評論家・隆さ

んの一口解説を。もちろん録画します。

今日 1 時から BS です。ケイジ



西山

あなた BS、わたし PC



森

私は WC。

番組説明

● シネマ「長い灰色の線」<字幕スーパー><レターボックスサイズ>

7月31日(木) 13:00 - 15:18

NHK BS 101

詳細 出演者・スタッフ

ジャンル: 映画 [洋画]

番組概要:
タイロン・パワー主演、モーリン・オハラ共演。巨匠ジョン・フォード監督が、陸軍士官学校で体育教官を務めた軍曹の涙と喜びに満ちた半生を描く感動のヒューマンドラマ。

番組内容:
巨匠ジョン・フォード監督ならではのユーモアと情感あふれる演出の傑作ヒューマンドラマ。陸軍士官学校で体育教官を務めるタイロン・パワーは、退屈の毎日を送るが、旧友である大統領に逢いにいく。大統領に逢ったモーリン・オハラは涙と喜びにあふれた半生を語り返す。モーリンを演じるのはタイロン・パワー。妻のメアリーをモーリン・オハラが演じ、フォード・ボンドははじめフォード作品常連の名優が共演。





編集人から

今月も多数の書き込み、誠にありがとうございました。

来月8月になりましても、より一層多くの書き込み、多くの方々の投稿をお待ち申し上げます。

『玉龍八期会 卒55周年記念誌』



浜崎さんの復刻版が登場したこともあって、いや以前から「卒55周年記念誌」は、多くの人びとに読み返されているという声を耳にしておりました。

今は亡き方でも書いた物は残り、在りし日を偲ぶことができます。

幸いなことに、このオンライン日記に復刻掲載できますので、順次お届けします。



疎開の思い出

岩切 キヨ（4組）



私達のクラスでも、もう何人かの盟友が天国へと召されてゆかれた。卒業した年の夏だったと覚えている。男子の級友から暑中見舞を頂いた。今までついそなかった事なので、びっくりにした。そこには、たあいのない又面水蓮の花がうす紫色の水彩で描かれていた。丁寧に描かれたその小さな蓮に見入りながら、みんなに出されたのだろうか、何枚も描くのは大変だったでしょうと思いながらそのまま見こみ、その夏も過ぎてしまった。何年か経ってから、その友の早逝を知ったのだ。今でも時々思い出す、心残りの思い出となっている。

このところ夜中に目覚めると思い出される事がある。もう記憶の底に埋もれてしまったかと思えていたのだが、人との別れを知ったのは、あの子との別れからたったかなーと思うのだ。もう終戦も間近に迫っていた五、六月の頃だった。私の家族は、時折小雨のばらつく山道をたどっていた。吉野の中別荘という所へ父の知人を頼って疎開したのだ。多分、滝の上辺りだったのだろう。高みから見下ろせる所で立ち留まった父母が、先日の無敵の空襲で焼けたばかりの我が家の辺りをじっと眺めていた。しばらくは振り返りながら上っていた。

上り着いたその日は、梅雨時の水を湛えた水田に稲が青々と風に揺れていた。今まで見た事もなかった田舎の風景が私をすっかり虜にしてしまった。そこでの夏がと暮までの暮らしは、今でも一つ一つ思い出される。近所の子供達の後について行って野暮を満喫に行ったり、山の端に母や姉と手を揃えに行ったりと毎日が楽しかった。

吉元さんという農家の駐りが私達の住所となった。大家様だったけど、ひさおさんという大きなお兄さんが我家の事を世話して下さいました。近所には親戚の方々があられて、末の男の子は私と同じ年だった。すぐによく一緒に遊ぶようになった。今でもその子の顔も定かには覚えていないのだが、

お兄ちゃんもいて、よく遊んでもらった。こうして、ちょっと待っているよ」と、牛小屋の干しわらの中から、まだ目もあかないねずみの子を大事そうに持って来て「ホイ、こうじ」と両手の平にのせてくれた。「うわー可愛いね」と私も覗いて触らせてもらった。

りてその子の隣にきんと座って待っていた。自在に形をなした鉄鍋の中から温かなおじやをついでもらって美味しく頂くのだった。おばさんは何故かいつも優しくお話を下さり、幸せな気持ちになるのだった。二人のお話さんも優しい方々だった。おじさんは病気がちで、時々吉元家で過ごしされる日もあった。

その日は真夏の空で気持ちの良い風が吹いてきた。ひさお兄さんと田舎の駐道に立っていた。風がそよそよと吹き渡り、高い稲穂が波のように揺れるのを見ていた。その時、銀色の飛行機が空高く、静く静かに飛んでゆくと飛んで行くのが見えた。いつもならすぐに逃げ帰る、防空壕に隠れていつまでも出て来ない私だった。その時、ひさお兄さんが言った。「もう逃げんぞん良かった。戦争は終わったぞ」と何とも言えない込み上げてくる様な嬉しさは、今でも忘れられない。まだ幼かった頃なのにそういう風に思ったのだ。

春になっていた。こうして、遊園がと声をかけると、家の中から手招きした。床の間に華やかにお雛様が飾られていて、障子越しに明るく日が差し込んでいた。疎開の前にもあまり見た事のない土人形がいくつかが飾ってあった。もの珍しさに眺めていると「おまんさーにもこいを上げもんさかい」と、驚いている私に、おばさんが大きなきれいな色の人形を一つ抱かせて下さった。嬉しくて大事に抱えて持ち帰った。

四月になり、私達は吉野の小学校へ一組に入學した。校庭に並ばされたが、私の組がどの列かわからなくなっていた。こうして、おばさんを渡して、その後には教室へ入った。しばらくして担任の先生が捜しに来られた。ボヤシー子だったなあと多量思ふ事だが、今もあまり覚えてはいないようだ。

丁度、又梅雨を迎える頃、疎開の家を引き上げる事となった。その時の事は慌しく過ぎて、どのように別れて来たのか全く覚えていない。

姉が通っていた付属小へ転校した。公民館の北側に焼けていた旧教育会館が仮の校舎となっていた。転校生活にもようやく慣れた頃、夏休みになった。

町に用事で来た立ち寄られたこうじちゃんのお姉さんは「こうじが死んだとお」と告げてハラハラと涙を流されるのを何も言えずに黙って見ていた。肺病だったそう。この歳になって、あのお母さんの気持ちがわかったような気がする。

一年の終了式が終わった後で、レクリエーションをする事になった。机の前に隣の組の男の子が一人出て来て、クリクリ功主の一本さんのような可愛い男の子だった。何が始まるのかなと思っていると「がまは曼でも四六のがまが波の山に住む……」と、大きな声でがまの油売りの口上を始めたのだ。とびっきり聴病だった私は、その男の子の勇氣にすっかり感動してしまった。

高校三年生になって一組のクラスになった浪崎隆さんの少年時代であった。

高次脳機能障害の夫とくらす日々

安倍 洋子（6組）



二〇一一年四月十五日、私達の四十九回目の結婚記念日当日の朝、私は主人の異常に気付きました。

ほんとうにいつも元気で「疲れた」と言う事を書かない行動的な主人が、(朝食の準備をしている私のところへ二階から降りて来た時の)「顔色が少し悪いなあ」と私は感じました。でも、主人は前夜入れた食洗機の中の食器を食器棚に戻して呉れたので、私を手伝っていました。

その内、テーブルにつき毎朝の習慣である大根おろしを自分でおろしていました。それを下に入れる小皿を下に落とす、自分で拾い、次にこぼれちゃわん一杯食べ、その頃から左の口角が少し下がっているのに私は気付かず、救急車を呼びました。幸いに救急車はすぐ来て、金曜日の開院前の国立病院へと運ばれ、診察の結果「脳内出血」と診断されました。

主人には心臓振動の持病があり、投薬は受けていましたので、治療もTPAその他の処置で手術をせずに二ヶ月の入院生活をこの病院で過ごしました。

この間、肺炎等をおこし、高熱が出たり、ほんとうにもうダメかなあと思う事が数回ありました。ある時、高熱中の眠りから覚めた主人が「えんまさんが、安倍さんはまだ仕事があるから帰んなさい」と言われたと言って、私と娘をびっくりさせました。

このことがあってから、私は「この人は色々人のために、いやがらずにやって来た人だから助けて頂けるかも」と思うようになりました。

この病院では、ベッドの上だけの簡単なリハビリで、口からの食事は一回もなく、高カロリー栄養食を管から入れていましたが、体重も十キロ落ちて、ほんとうに可哀想な姿でした。

リハビリの病院に転院して二日後には全ての管がはずされ、入浴も入院後初めてして、気持ち良さそうにトロミ食から始まり、毎回完食でびっくりする位の早さで、体力的には回復していき、左側に軽い後遺症がありましたが、日常生活に支障はありません。

只、リハビリの先生より遠隔間近になって「高次脳機能障害があります」と診断

され、私は初めて聞くこの障害の意味がわかりませんでした。

一見みたら、この頃(発病三ヶ月後)の主人は、よく食べ会話も普通に出来て、日常生活はほぼ自分で出来たので「これ迄の樹さんとは違う樹さんと生活する事になると思います」と言われ、「ええ、それってどういう事?」と思いましたが、リハビリも二ヶ月という早さで退院出来、先生はじめ看護士達もびっくりしていました。いざ日常生活が始まると主人の場合、①日時が理解出来ず、②新しい事を(経験した事のないもの)中々憶えられない、今迄のようにやる気がおきない、等色々ありますが、性格はすごく穏やかになり、微笑ましくさえ思える時もあります。

外出も近所やいつも行っている病院等は一人で行き、都心迄出かける時は私が同行します。心配しながら待っているよりその方が私が楽なのです。今迄、主人がよく利用していた乗換駅等は、逆に私を誘導しますが、ちょっとしたにかした時、解らなくなるからです。

ご存知の方もいらっしゃると思いますが、最後に高次脳機能障害について私が最近本等で見聞きした事を記しておきます。

病変や事故等の原因で脳の一部が損傷され、言語、思考、記憶、行為学習、注意等に機能障害が起きた状態を言います。

原因として多いのが、脳卒中で交通事故やその他の事故等による外傷性の脳損傷でも多く見られ、この障害の千人の方がいたら、千人千様だそうです。

幸いな事に主人はそれの中でも、ほんとうに軽い方だと思えますが、日々日常化した中で一緒に生活している者にはわからない苦労があります。

外から見てもわからないので、見えない障害とも言われていますが、日々色々な事で怒ったり笑ったりして暮らしていますが、解っているけど現状を受け入れる事の修養が足りない自分を時々いやになったり、一番大変なのは主人だろなあーと気付いたり、入院中あんなに元気な思いをしたのに「ここにこんな元気がない」と思っているじゃない!」と自分で自分を励ましています。

どうぞ皆様、周囲にこの病名の方がいらっしやったら理解してあげて下さい。

私も日々笑顔で、主人に接しられるようがんばります!



鹿児島県のイチロー

満山 一朗（2組）



《糖尿病がもたらせた奇跡の人生》

私は小さい時から駆けっこはいつもビリ。鉄棒の逆上がり一つ出来ず、跳び箱飛べずの大運動オンチで、玉龍時代の運動会では雲隠れを得意としておりましたので、私のことをご存じの方は極一部しかおられないはず。そして六十一歳の夏までは、文学系の人間として地味に地味に過ごして来ました。

強いて私が人様から一目置かれていたとしたら、カラオケスナックのママさんから「マイウェイは満山さんにしか歌わせない」と言われていたことくらいしかありません。

それが六十一歳の夏の終わりに糖尿病との宣告を受け、食事療法と何か運動をして血糖値を下げよと医師に命じられたことで、歩くのは大嫌いだだったので、立ったままで汗のかけそうなバッティングセンター通いをするにしました。

そして天の神様が一本のホームランを恵んで下さったことから、私の人生は想像だにしかつた方向へ、これでもか、これでもかと流され続けております。

テレビや新聞雑誌などのお蔭で人から注目されたり、夢を託される存在となったのに、誰もやらないような過酷な鍛錬を積んで来ました。結果、七十二歳の現在、私の体は二十七歳台のレベルを超えるパワーとスタミナを備えるに至っております。現役の野球青年たちや甲子園球児たちを相手に「フルスイングの真っ向勝負」を展開しております。日本初の一人の打者が受けて立つて、ホームラン対決をするというイベントをメテオ・スパードームのご協力のもとに行っております。

「鹿児島県のイチロー」との対一のホームラン対決」というものです。一年間で公開用の記録用紙に記入された対決は五百十回ありまして、私の二百九十六勝百二十七敗八十七引分けという結果になっております。ホームランの数は私が七百八十七本で、挑戦者たちの合計は四百二十九本となっております。

この対決イベントは、テレビなどで五回の取材がありますが、私の七勝二敗一引分けで、ホームランの本数は私が十九本で、挑戦者（全員社会人野球選手）たちの合計は二本となっております。客観的に公開記録用紙の結果を裏付けております。

若い時何らの運動もしたことのない七十二歳が、元氣盛りの若者達相手に「受けて立つ」なんてことをやらした上に、現役の甲子園球児の四番打者と飛ばし合いをして勝てるなんて夢にも思っていませんでした。

天の神様のいたすにだとしても度を越えている感じです。

最も新しいテレビはCBCテレビの十一月七日でしたが、これが少しカットされたものをインターネットで流しておられます。「七十二歳、鹿児島県のイチロー」と検索して下さい出て来ます。

関心のある方はご覧になって下さい。この日は四人の野球青年と対決させられたのですが、私だけが七本のホームランを打って、あとは勝った野球青年（点数制なので打率で勝った）をはじめとして、誰もホームランは打てなかった。特大ホームラン」という表現になってしまったものと思われませんが、実際には普通のレベルのホームランです。

年々衰える頭とは裏腹に、パワーやタフさは逆に年々上がり続ける一方ですが、これは多くの野球青年達が惜しむことなく色々なバッティング技術を教えてくれたり、見守ってくれているお蔭なのです。

それに加えて、同級生の皆さんが夢を託して下さいしておりますが、新たな大きなエネルギーを生み出してあります。本当にこんなありがたい人生は無いものと、心からの感謝の念の絶えない昨今です。

（私の戦いの軌跡に関心をお持ちでしたら、ファンの方がホームページを作って下さっておりますので<http://www1.ocn.ne.jp/~k1d1rio>をご覧ください）

いくつか写真を紹介しておきます。

①「鹿児島県のイチロー」との対一のホームラン対決」をおこなっている「メテオ・スパードーム」です。テレビなどを見て全国から挑戦者がやって来ますが、そのほとんどを返り討ちにしのいでおります。

②燃費テストの途中に、あちこちのバッティングセンターに武者修行に立ち寄っておりますが、これは青森県のバッティングセンターでのホームラ



ン記録です。県外で打った時はノートに記録してもらっています。

出会った青年から、鹿児島県のイチローさんですね、こんなところまで来られるんですかと言われまして。えっ、青森でもわかるのか、とビックリしましたが、あらためてテレビの影響力の凄さを知らされたものでした。

③東京での収録でよくお世話になる「理想バッティングドーム」です。

三和敬助さんの娘さんの司会での収録の際はサインをもらって帰りましたのですが、台本が私がタレントの若者にバットにサインして渡すという設定だったので、つい、サインを下さいの一言が言えませんでした。悔しかったです。

④テレビ三社が一掃になった時の収録風景です。時々一緒になってしまうことがあります。なぜか重なることが時々出ております。

⑤私との「ホームラン対決」で、よく一緒に写真を撮らせて下さい。と頼まれるのですが、上級レベルの野球青年の時には、私に勝ったと写させてあげるよ、と言うこともありまして、この青年は二度目にしてようやく勝ったのですが、この嬉しそうな顔が素敵ですよ。

こんな顔を見るのが私も大きな楽しみなので人知れず過酷な鍛錬を積んでいるわけです。

⑥右のバットは野球青年達が驚く千四百gのバットです。これを私と同じようにグリップエンドに小指をかけて、長々と離ってフルスイング出来る野球道



手がないので、私のような老人が高い勝率とホームラン率を誇るというわけです。

時々修理の必要がありまして、その時には「二八」のバットを代用しております。

左のバットは、私が考案した「可愛重収、可愛重式トレーニングバット」です。単純な重さは「一八」ですが、頭の方に重りを沢山付けてあるので、実際にスイングすると金属製の二八のトレーニングバットより重くなるのです。

人の見ていないところでこれを振り回して、体のあちこちを傷めながらも必死に鍛え上げてピークを磨いているわけです。



「たけしの等々カベース」の収録裏話

続く時は続くもので、この半年間は「マツコの知らない世界」「月曜から夜ふかし」「天才テレビ君」「バッティングセンター・ホームラン対決」「たけしの等々カベース」と続いた。

この中で、ホームラン対決モノはたっぷり収録しながら、すみません、企画がお流れになりました。と言って来たが、以前この手で他の番組に流用したのであったので、コシもなかった費用からみて必ずどこかで使うものと思っている。

「同放談されたあな、見る人が多くて反響の多かった「たけしの等々カベース・バッティングセンター」は、出演依頼が来た時に、私は上がり症でスタジオものは全くダメなので、飛行機での移動はダメなので全て公平にお断りさせて頂いておりますが、これ以外なら一応オーケーです」と言ったところ、それでいいということになって東京に行くことになった。

ところが台本が送って来たので読んでみると私のセリフが結構あるのだ。しまった、コシを確かめるのを忘れていたと後悔したが、もう後の祭り、覚えるしか仕方がなくなつて新幹線の中で必死に暗記した。

指定された東京足立区のバッティングセンターに行くと、もう皆さん集まつておられて打ち合わせが始まる場所だった。

撮影開始十分くらい前に“ビートたけし”さんが駆けつけて来られた。かなり忙しい様子で、時間が無かつたらしく、打ち合わせは数分程度で本番はコンビ二で買って来られたらしい助六を食べながら進行して行くのだが、これが絵になっているのが凄くと思った。

そしてもう爆笑の連続で、私は最後に登場することになっているので、この様子を反対側の椅子に座らされて見ているのだが、面白さに引き込まれてしまつて自分の言わねばならないことを殆ど忘れてしまつて、どうしても思い出せずに頭の中が真っ白になつた。

そして出番が近づくにしたがつて、焦りと緊張で肩や首筋がコリコリに凝つて来て、たけしさんと同じようにコリコリの動作をしてしまつて、ハツとして止めたが、それを見たプロデューサーの人が後ろに来て、すーっともみほぐして下さつて大助かりだった。

本番では司会進行役のタカさんが“伝説のプレーヤーを紹介します”とか、紹介役のYさんが“バッティングに関しては他の追隨を許さない”などと大げさに紹介されるので、尚更に上がつてしまつて口の中はカラカラになつた。

椅子にかけても唇が渇いてしゃべれない感じだったが、映像にもペロで濡らせているのがバッチリ映っている。

だが、一呼吸おいてからはタカさんが上手くりドして下さつたことと、“たけしさん”はじめ皆さんが絶妙に合いの手を入れて下さつたお蔭で、なんとか必要なことを言うことが出来ているようだ。

そして自分のバッティング論を実証せよとのことで、皆さんの前で十球ほどをホームランの的を狙つて打つことになつたが、野外のバッティングセンターの為に白内障が悪さをして見えにくかつたが、詰りながらも一応ホームランの的に近いのを二本打てて、なんとか役目を果たすことが出来て内心ホッとした。

その次に元木さんが打つたのだが、私が打つた後なのでちょっと力みが出て、そ

れとバッティングセンターに馴れていないこともあつて打ちにくそうだった。

やはり映像ではカットしてあつたが、真剣に打たれていたのがプロの打法として我々の研究用に欲しい映像だった。

その後は福岡からやつて来られたエア式のマシンでの体験があつたが、これはボールの出るタイミングが全くわからないので、私は一本しか打てなかつた。

たけしさんも打たれたが、私同様にタイミングがとれなかつた。しかしスイングは鋭くて素晴らしい。

終わつたら皆で記念写真を写されたが、もう七十回以上テレビに出されているが、こんなことは初めてで、本当にいい記念写真になつた。

全てが終わつてから“たけしさん”に、今回使つて、その重さに皆さんが驚かされていた千二百gのバットにサインをお願いしたところ、凄く書きにくいのに気持ち良く“ビートたけし”と書いて下さつた。

このバットは、メーカーから直接購入したものを私のバッティングに合わせて、最大限にヘッドが重く走るようにと、グリップ部分を極細に切削加工しているのだ。(一番細い部分にその細さが解るように一円玉を載せて写してある)

この加工により、千二百gのバットとしては最大級のヘッドの重さにしてあるのだ、たけしさん達がよくこんなのを振れるなあ、凄いよ”と何度も驚かれていた。

このテレビは、二週連続で放映された為に、結構見た人が多かつたらしくて、メテオ・スパードームに“ホームランを打つて見せて下さい”とか、“たけしさん達が何度も驚かれていた千二百gというバットを見せて下さい”と言って、訪ねて来られる人が続いているし、大型ショッピングモールへ行ったりすると“たけしさんのテレビで見ましたよ”と声をかけられたり、写真をねだられている。さすがは“たけしさん”の番組だなと感心している。



懐かしき高校時代

岩井 英一（3組）



玉竜高校へ入学したのは昭和三十年四月、十五歳の時である。まだまだ幼く、世間知らずの私であった。

最初に思い出すのは「待ち伏せ」事件である。佐賀、宮元、入佐、岩井の四人の仲間、学校帰りに、女生徒達と何か面白いことでも起きないかと、待ち伏せていたのである。隠れて「お前の彼女だ、話かけろ」とお互いにけしかけあった。しかし、誰もそれが出来た者はいなかった。

そのうちに仲間達に、家が近いから、中学校が同じだったからと、へ理屈をつけて彼女たちを割り当てた。クラスの女生徒は六人と少なく、彼女を作れそうにもない私は「まあ、いいか」と言う顔をしていた。

こうして勝手に自分の彼女を持つことが出来たのである。しかし、これは「かり（仮）ごと」であり、何も実るものではなく、心は虚しく、人に話せるようなことではないと、みんな自覚していた。

白状するけど、私はそれまで、女の子と話さえたことはなかった。その私の彼女は、中学生の時、家が近くでクラスが同じで帰り道も同じだった。

彼女は、他の子と違ってときおり、カバンを大きく振り回し、スカートをふわっと広げたり、スキップしたりしながら帰っていた。

私は帰り道、会わないように追いつかないようにしていた。人目のない所で、そのしぐさを真似てみたりしていた。いつしかほのかに、いとおしさを覚えていたのだ。と、この時になって気付いたのである。

仲間たちも口には出さないが「かりごと」を楽しんでいるようすが伺えた。

ある日、南洲神社の下の通りで、待ち伏せていた。待っている間、自転車道を道路脇に置いてぶさけあっていたとき、四人とも犬の糞を踏んでしまい、強烈な悪臭が辺り一面にたちこめた。

風の流れもよんでいて、鼻をつまんでも体に染み込んできそうだった。

何だか、丁度そこへ彼女達が通りがかったのである。こんな雰囲気にしたのは、我々ではないと身を隠してじっと見ていた。

彼女達は悪臭たちこめる中を何事もなかったかの如く、悠然と通り過ぎて行ったのである。

そんなはずはない、「キャッ」とか「臭い」とか何等かのリアクションがあつて然るべきだと期待していたのに――。

我々は気が抜けた。彼女達は我々よりもずっと大人で、犬の糞臭ぐらいで動じるはずもなかった。

成績も中学生の時から優秀で、私にとっては憧れ、いやマドンナに近い存在だった。こんなことを喜びとする自分達の幼さ、未熟さを思い知らされた事件であった。

体育祭のダンスの練習で、順番に廻って来る彼女達、四人それぞれどんな顔をして彼女と手を繋いでいるか、お互い観察し合って後で冷やかすのであった。

「下ばかり向いて顔も上げなかったな」「いっちゃん手も繋がなかったな」と冷やかしたり「ちよっち何か話しをしちよったな、何を話したんや」と問い詰めたりしたのである。

仲間だけでなく、あっちこちで、おなじような会話があつたであろう。何とも幼く、ラブレターらしきものを書くようなこともなく、無粋な青春時代であつた。

入学して直ぐ「柔道部」に入った。しかし練習はいつも受け身が多く、乱取りでは、筋骨先輩たちに投げられるばかりで、技は殆んど教えてもらえなかった。

体を鍛えるだけではなく、技を学びたかったのである。半年も続かず止めてしまった。

でも何かものたりなくて、砂場で羽生と、時には日高と相撲を取った。如何に相手の力を利用するかと二人で研究した。授業があるのも忘れて、そのまままぼつてしまったこともあつた。

二年になると、校舎のつなぎ目の所で相撲を取っている者がいつも五、六人はいた。羽生との研究の成果もあつて、私は足技が冴えて体格のよい者にもよく勝った。

仲間うちで、入佐が楠錦、私は千代の山で、若乃花は伊地知だったろうか。何故こんな風に決めてかかるのか、また、子供心から抜け切れていなかったのだらう。

「水泳」の授業は、プールがまだ無く、磯で行われていた。もちろん男女は別々の時間帯に分かれるのである。

女子の時には、少し離れたちゃんぽん屋の横に隠れて、ちゃんぽんをねぶりながら「おっと、おっと、あそこにお前の彼女が」と、ふだん見るここのない情景に目を輝かせながら冷やかして楽しんでた。

そのふざけ心が男子の番になっても続いたのか、我々はあまり真面目には取り組んでいなかったのである。